

御坊東ロータリークラブ
since 1996.2.14

地域を育み、大陸をつなぐ
Ri2010~2011 Theme

Club Weekly Britain

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F
事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市齒350-28(御坊商工会館3F)
連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234
E-Mail gobocast-rc@naxnet.or.jp

会長 尾崎 達哉
副会長 雑賀 鈴夫
幹事 森本 弘之

四つのテスト(Four way Test)

- 言動はこれに照らしてから
- (1)真実かどうか (2)みんなに公平か
 - (3)好意と友情を深めるか
 - (4)みんなのためになるかどうか

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F
事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市齒350-28(御坊商工会館3F)
連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234
E-Mail gobocast-rc@naxnet.or.jp

☆ 司会進行 SAA 白井 勇 君
<ゲスト>

* 林 完赫 様



会長の時間

副会長 雑賀鈴夫 君

皆さん今晚は、ここに立つのはお久しぶりです。

世間では今、大変な“変革時期”に入っていると思われ
ます。

私の事業でもその煽りと申し
ましようか、何となく感ずるもので
あります。

金儲けは確かに少ないよりも多に越したことはありません
が、多くするが為には何等かの犠牲もつきものと思います。
人間の欲は止まることを知りません。が、しかし結果として「そう
なるものであること」も知っておかなければなりません。
“一生懸命”にすることにより、結果も付いてくる。今私達が失
いかけている言葉です。

日本は、私達は、その殆どが裕福になりました。この事によ
って“挑戦”するとか“我慢する”と言う事を忘れかかっています。
何事にも“全力で”ぶつかり又我慢して挑戦していこう
ではありませんか!!



委員会報告

【クラブ管理運営委員会】委員長 小池佳史 君

4月23日の親睦旅行はJR御坊駅に7時集合ですので、
皆さま忘れられないようにお願いします。

本日のプログラム

「マタイによる福音書 11章 28～30節」

- 宗教法人日本キリスト教団
- 御坊はこぶね教会牧師 林 完赫 様
- 宗教法人日本キリスト教団
- 御坊はこぶね教会オルガンリスト
- 有田 いずみ 様

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの轡を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの轡は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」私たちはいつの間にか平凡な日々を大切に
にし、楽しむことを忘れていたのではないかと思います。

今のアニメは私たちに何を伝えようとしているのでしょうか。皆さんはこれをご覧になって、何を感じたのでしょうか。羊飼いの関心はいつものように羊たちを連れて草を食べさせ、水を飲ませ、そして日が暮れると家に帰ることであり、毎日その繰り返しの人生であったと思います。

しかし一匹の小羊によって今まで自分が忘れていた大切なものに気づかされ、感動を受けました。

あの日の出の光景はいつもと同じで、その日だけが特別に美しかったのではありません。太陽は東から昇り、西へと沈んでいきます。いつもと同じ日の出でしたが、大分、苦労した後だったので、言葉では言い尽くせない感動を受けたのです。お金では買えない自然がもたらす感動です。考えてみればそういう感動の元になる物や出来事は私たちの周辺にいっぱいあると思います。

けれども気づかないのです。通り過ぎ、見落としてしまします。なぜでしょうか。忙しいと思ひ込み、そういう暇はないと考え、そんな余裕なんかないと自らに言い聞かせているからです。

*** 中略 ***

私たちが普段心配している事の40%は絶対起こらないことだと言います。

また心配事の30%はすでに起こったことであり、心配事の22%は極小さな事だと言っています。心配事の4%は私たちの力では解決出来ない事だと言います。そして残りの4%の心配事だけが私たちの力で解決出来る事だと言います。

つまり、今、私たちが心配したり、悩んだりしていることはある意味では殆ど意味がないのです。聖書の中で主イエスはこう言われました。「明日のことまで、思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」(マタイ6章34節)

皆さんはハワード・シュルツ(Howard Schultz)という名前を聞いたことがありますか？彼は1953年アメリカのブルクリンの貧困層が集まっている貧しい家庭で生まれました。彼は子どもの時からスポーツが好きで、スポーツで人生に成功することを願っていました。そして努力して頑張った結果、彼はアメリカンフットボール選手としてクォーターバック奨学金をもらってノーザ



ンミンガン大学に入学したのですが、スポーツ選手として良い成績を残すことが出来ず失敗を経験しました。

大学卒業後、彼は新しい人生を求めて、ゼロックスにサラリーマンとして就職しました。しかし長く勤めることが出来ず、家庭用品を販売するハマープラストに転職。その会社で初めて小さな成功を味わいます。そこで一生懸命に働いた結果、彼は副社長と同時にゼネラルマネージャーの職に就きました。

そのポストによって彼は高級マンションやレストラン、夜になると華やかなパーティーに出かけることが多くなりました。

しかし時間が経つにつれ、なぜかそういう生活に満足することが出来なくなり、どこか、心の穴が空いているような、日々を送っていたのです。

*** 中略 ***

遂に、自分が得ていた会社の全ての地位、名誉、特権を捨て、シアトルの小さなコーヒーショップのマネージャーとして再び新しい人生を歩み始めました。

そして 1985 年、コーヒー豆の購入のためにイタリアのミラノへ出張に行った時、彼はエスプレッソバーに座っている人々がコーヒーだけを味わっているのではないことに気づきました。友達、カップルそしてビジネスのパートナーたちが共に座って人生を語り合うのを見て、現代人には家庭でもなく、職場でもなく、こういう第三の居心地の場、つまり、約束の地が必要であると確信するようになりました。彼の一生のビジョンが生まれる瞬間だったのです。

皆さんは今、どんな人生を送っているのでしょうか？最高の人生を送っているのでしょうか？それとも最悪な人生を送っているのでしょうか？今の状況はどうでしょうか？苦しいですか？大変ですか？まるで暗いトンネルをくぐり抜けているような状態ですか？これらの悩み、苦しみの時を理解する一つの観点があります。それは苦しみの中に召命があるということです。つまり、皆さんが今、経験している苦悩とは、召命を問う時間でもあるということです。

召命って何でしょうか？皆さんが聞いたことのある言葉で言い換えますと天職とも言えることです。一般的に職業を意味する Vocation という言葉は、元々ラテン語の vocatio という単語から由来したもので神の導きのうちに天職としてつくことを意味します。また神に呼び出されることを意味する言葉です。

けれども今の社会はどうでしょうか？皆天職ではなく、より良い職を求めて転職を考えます。チャンスがあれば、あるいは気に入らなかつたならば転職を考え、今就いている仕事をすぐに辞めて、他の職を探します。もちろん先程、紹介したハワード・シュルツのように転職によって本当の天職を見つけるケースもあることでしょう。しかし多くの場合は努力もせず、又、最善を尽くして働きもせず途中で諦めることが多く、転職を行った場合でも、うまくいくケースは少ないのです。要は成功や失敗に係わらず自分に与えられた仕事に最善を尽くして精一杯行う事が大切です。このプロセスが自分をより良く、またより強くさせるのです。

多くの場合、また多くの人はスタートもせず、取りかかろうともしないまま、おそらく自分に合わないだろう、出来ないだろうと考え、諦めてしまうのです。その原因は新しい事にチャレンジする勇気がないからです。

波風が立つこと、平凡な日常が変わることを恐れ、冒険はしたくないと考えるからです。

怖いと思ひ込んだり、あるいは失敗を恐れて何一つ出来ないのです。世界にある多くの企業の平均寿命は何年か、ご存知でしょうか？世界にある企業の平均寿命は 15 年という調査結

果があります。今も世界では多くの会社生まれ、同時に消えていきます。けれども衰退、短命という宿命に逆行して永遠の企業として健在する会社があるわけです。

その秘訣は何か？どうすれば不況な時でも成長し続けることができるのか？それは成功に安住せず、時代の流れや地域状況による人々の変化とニーズにより早く、素早く準備し、対応できる力を備えることです。持続的で、同時に適切な変化を行う企業であります。本当に長寿する企業というのは長い歴史を誇る企業ではなく、持続的な変化で若さを維持する、不老企業を意味するのです。

この変身能力は時々企業のアイデンティティを変化させます。企業自ら、伝統に固執するのではなく、時代のニーズに合わせて変化していくのです。過去に拘らず、未来の要求に合わせていくのです。

その中で私は日本の一つの医薬品会社に注目しています。1946 年に設立された正露丸で有名な大幸薬品です。この会社は正露丸を代表商品として全面に出しながら同時に新規事業にも投資していました。その結果、2009 年 4~6 月分岐決算で新規事業である感染管理事業分野が沈滞期にあった医薬品事業の営業利益を追い越しました。企業が新しい成長エンジンを付けて若返りしたのです。特に私が気に入ったのはこの会社のビジョンとスローガンでした。

*** 中略 ***

皆さんが今、目指している人生のゴールは何でしょうか？私たちの人生の旅はいつか終わります。

人生の終わりに皆さんはどういう感想を、どういう言葉を残すのでしょうか？ぜひ悔いのない言葉、未練のない言葉を残して頂きたい。

そして今の人生の旅にぜひ主イエスを旅の友として同行していただきたい。

なぜならその方は皆さんの人生の旅に必ず役に立つからです。ありがとうございました。

ニコニコ箱

SAA 白井 勇 君

◇白井 勇 君(過分に)

イムさん本日よりよろしくお願い致します。

◇尾崎 会長 イムさんよろしくお願ひします。

◇雑賀鈴夫 君 東北の方もパニックですけど、私の会社もパニックです。

◇稲垣 崇 君 イムさん、有田さん、先日、どうもありがとうございました。

◇細川幸三 君 イムさん、有田さん、本日はヨロシク御願ひいたします。

出席報告

出席委員会 小池佳史 君

会員数	欠席者	出席者	免除会員	出席率
15名	2名	13名	0	86.7%
3月30日 の修正出席率			73.3%	⇒ 86.7%